

授業科目	保健医療と福祉				実務家教員担当科目	○					
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	岡田 和敏										
授業概要	傷病により起きる生活課題をどのように理解し支援して行くかを理解する。また、実務家（医療ソーシャルワーカー）教員として、社会福祉士（医療ソーシャルワーカー）と保健医療サービスに係る他職種（医師、看護師、保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護支援専門員など）との連携や協働について経験をもとに講義する。経験は個人が行ったことだと理解されようが、矛盾やジレンマに対し個別具体的な話から解決の方法などについて説明を行いテキストに記載されていることをリアルに解説したい。人々に寄り添うことの大切さを理解してもらいたい。										
授業形態	講義を中心に行う。毎日のように起こる事件、事故、災害などの報道から、今、学んでいることがどのように繋がって行くかをソーシャルワーカーの視点から考えたい。	授業方法	講義に必要と思われる資料、文献、新聞などを活用し、指名して意見や質問を受け説明する。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 人びとのいのちや生活について、さらには対象者の抱える福祉的課題について理解する。</p> <p>2. 保健医療の動向を理解し、それを基に政策、制度、サービスについて横断的な理解し、その活用を図れる 知識・技術を身につけることができる。</p> <p>3. 保健医療領域における専門職の意義と役割を理解し他職種との連携や協働をすることができる。</p> <p>4. 専門職としての倫理的基盤に基づき適切な支援を行うことができる。</p> <p>傷病をもとに起きる生活上の諸問題について理解することができる。社会資源について理解することができる。</p>										
理想的レベル	傷病をもとに起きる生活上の諸問題を客観的に捉え、適切な支援のあり方を導き出すことができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	70%										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	30%				発表、講義についての質問等						
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21220J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
指示した箇所の予習・復習										4	
授業計画											

第1回	保健医療の課題をもつ人の理解 1. 病者の理解について解説する。
第2回	保健医療の課題をもつ人の理解 2. 家族を支援するための理解について解説する。
第3回	保健医療の課題をもつ人の理解 3. 患者の権利について解説する。
第4回	医療倫理 1. 医療倫理と倫理問題について解説する。
第5回	医療倫理 2. 患者の意思決定をめぐる課題について解説する。
第6回	保健医療の動向 1. 疾病構造の変化について解説する。
第7回	保健医療の動向 2. 入院医療から在宅医療 病院完結型医療から地域完結型医療へと変わる課題について解説する。
第8回	保健医療の動向 3. 保健医療における福祉的課題について解説する。
第9回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識 1. 保健医療の政策・制度と保健医療サービスの提供体制について解説する。
第10回	保健医療領域に必要な政策・制度およびサービスに関する知識 2. 医療費保障制度およびその他の制度について解説する。
第11回	保健医療領域における専門職と連携 1. 保健医療領域における専門職と院内および地域の関係機関との連携について解説する。
第12回	保健医療領域における専門職の役割と連携 2. 医療機関におけるソーシャルワーカーが所属する部門の現状と課題について解説する。
第13回	保健医療領域における支援の実際 保健医療領域におけるソーシャルワーカーの役割について「医療ソーシャルワーカー業務指針」から解説する。
第14回	保健医療領域における支援の実際 保健医療分野におけるソーシャルワーク実践の歴史と動向を解説する。
第15回	保健医療と福祉の展望 全体のまとめと今後の課題についてを講義する。
テキスト	一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編集 『最新 社会福祉士養成講座 保健医療と福祉』中央法規出版
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考文献、資料等は講義時に情報提供する。

課題に対するフィードバックの方法	クラスルームを活用し受けた質問や意見に対しフィードバックする。
学生へのメッセージ・コメント	わからないことを読み飛ばしせず、必要によって他の講義テキストや図書館の文献、更にはインターネットなどで調べるように心掛ける。 保健医療と福祉に関連する問題について新聞など関心を持つ。

